

尾張旭市学校給食運営委員会議事要旨

1 開催日時

平成28年12月15日(木)

開会 午後1時30分

閉会 午後2時45分

2 開催場所

尾張旭市学校給食センター 食育指導室

3 出席委員

大谷英子、小林広子、水谷紀子、中崎奈緒子、中道由美、
森前 陽、松原昭平、小杉夏志登、藤井政勝、堀田 実
10名

4 欠席委員

金森俊輔、大嶋善行、池田泰崇、加藤美千代、姫岩弘治 5名

5 傍聴者数

0名

6 出席した事務局職員

教育長 河村晋、教育部長 萬谷久幸、所長 酒井学、所長補佐 谷口富男
栄養教諭 曾根規容子・浅野絵梨、

7 議題

給食費の改定について

8 会議の要旨

委員長	<p>本日は、お忙しい中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。定刻となりましたので、ただいまから平成28年度第2回尾張旭市学校給食運営委員会を開催いたします。</p> <p>なお、大嶋善行委員、池田泰崇委員、加藤美千代委員、姫岩弘治委員、金森俊輔委員の5名から都合により欠席する旨の連絡をいただいておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>本日は、過半数の委員の出席をいただいておりますので、本委員会は成立しております。</p> <p>それでは、開会にあたりまして、教育長より挨拶をお願いいたします。</p>
教育長	(挨拶)
委員長	<p>ありがとうございました。それでは、次第により進めさせていただきます。本日の議題は、1件です。それでは、次第2議題「給食費の改定について」事務局より説明してください。</p>

事務局	(議題 について説明)
委員長	ただ今、「給食費の改定について」事務局から説明がありましたが、この件につきまして、ご意見、ご質問等はございますか。
松原委員	今現在は、予算的に赤字の状態ですか。
事務局	質等の内容を考慮して赤字にならないようにしています。
松原委員	給食費を値上げする前に食べ残しを減らすことで上げ幅を少なくする考えはありますか。
事務局	それも合理的な考えかたかもしれませんが、栄養摂取基準を満たした内容で提供するためには量を減らすのは難しいです。
栄養教諭	子どもたちに食べ残しを映したビデオを見せたり、現状を伝えるようにしています。現在、尾張旭の子どもたち(の体格)は全国に比べて小さいので、食べてもらうための努力が必要だと考えています。「ふりかけ」などの添加物は、費用面から今は提供できていないが、そういったものによっても食べる量を増やすことができるのではないかと思います。
副委員長	給食費について、市の補助は一人1食当たりどのくらいでしょうか。また、資料を見ると瀬戸市は給食費が高いようですが。
事務局	給食に係る費用には、光熱水費などの経費も含まれますが、学校給食法で食材は保護者負担、経費は公的負担と定められています。市町村によって、それぞれの状況に合わせ、本来の公費負担部分以外に補助を行っている所もあります。先ほど説明しました6市で公費負担を実施しているのは、長久手市、日進市、豊明市の3市で、その内容は各市まちまちです。尾張旭市は実施していません。 瀬戸市については、1か所のセンター方式ではないため経費面などで事情が違うこともあります。
委員長	その他、ご意見、ご質問等はございますか。
大谷委員	子どもたちの中で「新給食センターになってから好きなメニューが出なくなった」などの話が出ました。給食センターの維持のための値上げだと子どもたちが思ってしまったら怖いと思いますが、いかがですか。
栄養教諭	センターが2場から1場になったことで、調理の時間が早くなって作りたてを食べるといったイメージではなくなってきていますが、それを補

	うための工夫をするようにしていますし、味が落ちたとは思っていません。また、値上げ分については、設備費とは関係ありませんので、説明をしっかりとすることも必要だと思います。
大谷委員	ただ単に添加物を増やしただけでは、あまり内容が変わったという印象はないのではないのでしょうか。20円も上がるのだから内容が良くなるのではないかという意見も出るのでは。
副委員長	近隣市町村と比べて尾張旭市は少ない費用の中やりくりをしてくださっていたんだと思うと、そんなふうには思わないのではないか。
栄養教諭	全体的に価格が上がっているので厳しいですが、クリスマスケーキなど季節のものはつけてあげたいと思って頑張っています。
大谷委員	ケーキは、食物アレルギーなどで食べられないなど悲しい思いをする子もいて難しいと思いますが。
栄養教諭	本来は食物アレルギーの子も食べられるケーキを全員に出してあげるのが一番だと思いますが、現状では高価で難しいので食物アレルギーの子には卵乳小麦抜きケーキ、一般の子には普通のケーキを出しています。給食費を20円アップさせていただけると、食物アレルギーに関係なく全員に同じものをつけられるということにも繋がると思います。
松原委員	物価が上がっているので、場合によってはもっと値上げしてもよいのではないか。
副委員長	20円のアップでは、また何年後かに値上げという話になるのではないか。
事務局	尾張旭市は平成23年に給食費改定をして、2か年は近隣市町村の平均くらいだったのが、現在は下回っています。20円上げることで平均くらいになります。長い目で見るともう少し上げたいというところですが、今の時世を考えると20円値上げして、またその後の状況を見ながらと考えています。
大谷委員	資料の中に、他の市も改定予定だとありますが。
事務局	豊明市は29年度15円値上げ予定、小牧市も引き上げを考えていると聞いています。
水谷委員	23年から改定されていないということで、消費税が上がった時に給食費の値上げをしていないのであれば、20円の値上げは問題ないので

	はないか。次に消費税が上がった時に、またやりくりをしなければいけないのではないかと思いますが。
栄養教諭	資料は試算で20円アップということでメニューを考えましたが、これも最低ラインです。消費税10%になるとどうかという心配もあります。
水谷委員	消費税が上がった時に、また改定すればいいのかもしれませんが。
事務局	<p>以前はデフレの時代が長くて、それほど給食費の改定がされなかったという時期があったのですが、最近は物価上昇が顕著になってきて、他の給食センターでも改定はしたいけれどという状況と思います。とはいっても、給食費を頻繁に改定することはなかなかむづかしいので、消費税が上がったので市が一時的に補てんするということもあります。</p> <p>他市では、「時世に合わせて随時、給食費の改定を行う」という意見が出されたりもしているそうです。</p>
堀田委員	もう少し早く値上げをしても良かったのではないですか。
事務局	消費税10%を目処に値上げを検討していました。
委員長	<p>学校現場では食育という形で、食を通して栄養バランスや将来の自分の健康について考えるなど、様々な取り組みをしています。指導する側としては、子どもたちが共通して食べている給食がある程度の水準のものであって欲しいという思いがあります。また、食材を選ぶとか、費用を考えるなど以外にも「皆が食べられる学校給食の日」など様々な工夫をしていただけていることを、学校現場としてはありがたいと思っています。作る側が自信を持って作れる価格設定を考えていくべきではないかと思っています。</p> <p>多くの保護者の方には給食の大切さを理解していただいているので、ある程度給食費が上がっても十分理解いただけると思います。しかも、尾張旭市は健康都市としてPRしていることですし、近隣で最もいい給食を提供しているから、結果として給食費が一番高くてもいいかなという発想も持っていただいてもいいかと思っています。</p> <p>その他、いかがでしょうか。</p>
藤井委員	今まですごく努力をされていたことが、よく分かりました。20円を上げるということで、しっかり説明をしていかなければならない事と、上げた事で質の向上、ひいては残菜を減らすなど作り手側の努力をしっかり

	<p>りしていくことが大事だと思います。</p> <p>値上げによる未納も心配されるので、やはりしっかりした説明や、質の向上を併せてお願いしたいと思います。</p>
委員長	<p>尾張旭市は未納はあるのですか。</p>
事務局	<p>尾張旭市は、昨年度分が7万円ほどありましたが、幸いなことに現在完納いただいております。現年度分の徴収についても、学校にご努力いただいております。</p>
委員長	<p>様々な角度からお話をいただきましたので、考えていかなければいけないことも含めて明確になったと思います。</p> <p>他にご質問ご意見もないようですので、事務局のほうからご提案のあった給食費の改定について、それぞれ20円引き上げて、小学校250円、中学校280円に改定するという事で承認される方の挙手をお願いします。</p>
	<p>(挙手全員)</p>
委員長	<p>全員の挙手により、小学校250円、中学校280円に改定することを承認することとします。</p> <p>以上で議題の審議は終了いたしました。その他にございますか。</p>
事務局	<p>次回の会議は、来年の2月ごろを予定しております。よろしくお願いたします。</p>
委員長	<p>これもちまして、平成28年度第2回尾張旭市学校給食運営委員会を終わらせていただきます。審議ありがとうございました。</p>